

J A 全農ちば

営農情報集

2023. 8

【今月の情報】

1. 水稻 令和5年産 米の仕上げ
2. 園芸野菜 病虫害防除情報
3. 農作業事故防止
4. 熱中症対策について

【今月の気象（気象庁7/27発表 1か月予報より）】

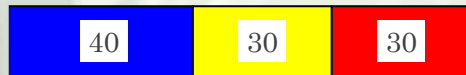
8月は気温が非常に高くなる予報です。作物の生育や病虫害の発生も変動しますので、栽培管理や防除、特に施設栽培では温度管理に注意しましょう。

また、高温のため熱中症も懸念されます。適度な休憩・水分補給を心掛けてください。

【気温】



【降水量】



【日照時間】



■ : 低い ■ : 平年並み ■ : 高い

注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

令和5年産米 最後の仕上げ

～適期収穫と乾燥・調製について～

JA全農ちば
営農支援部

1. はじめに

関東甲信の梅雨明けは7月22日（平年より3日遅い）になりました。7月の気温は平年より高く推移し、県の発表によると「ふさおとめ」「ふさこがね」は平年より1日早い出穂期となり、「コシヒカリ」「粒すけ」は平年より4日早い出穂期となりました。「ふさおとめ」は穂長がやや長めとなっている様です。

成熟期は4月20日植えの「ふさおとめ」が8月8日、「ふさこがね」は8月14日、「コシヒカリ」「粒すけ」は8月20日からと予測されます（表1）。

成熟期の判断について、いつもより葉色が薄い場合や水が不足している圃場は成熟期が早まる可能性があるため、成熟期の判断には注意をしましょう。

その他、斑点米カメムシ類多発の情報が出ています。病害を含め、発生状況を確認し、追加防除が必要な場合は収穫前日数に注意し、防除を実施しましょう。また、一部の地域で「内穎褐変病」と思われる症状が散見されています。具体的な防除対策は無い状況ですが、穂肥の多肥で助長されますので、以降で肥培管理がある圃場は注意しましょう。

2. 乳白米防止のために水管理の徹底

乳白米は、天候や水稻の生育量、肥培管理など様々な要因により発生します。特に登熟期に高温寡照が続くと水不足になり乳白米が多く発生し品質低下が大きな問題となります。

また自然由来のカドミウムの吸収を抑えるためにも出穂3週間前～出穂2週間後まで湛水状態を保つようにし、収穫直前の出穂後25日頃までは間断かんがいを続け、早期落水は絶対に避けましょう。

表1 品種・植付時期別の成熟期の予測

品種	植付時期	成熟期予測			
		県北 (香取市)	九十九里 (茂原市)	内湾 (千葉市)	県南 (館山市)
ふさおとめ	4月20日	8月12日	8月10日	8月9日	8月8日
ふさこがね	4月20日	8月18日	8月15日	8月14日	8月14日
コシヒカリ	4月20日	8月25日	8月23日	8月21日	8月21日
	5月1日	8月29日	8月27日	8月25日	8月26日
	5月10日	9月3日	9月1日	8月30日	8月31日
粒すけ	4月20日	8月24日	8月22日	8月20日	8月19日

※水稻の生育状況と当面の対策 第5報（千葉県農林水産部 7月26日発表）より

3. 刈取時期の判断について

水稻の刈り取り適期の判定は、一般的に出穂後の日数による判断と帯緑色籾歩合による判断があります。出穂後の刈取りまでの日数は各品種で違うので注意しましょう。また、天候不順や高温などの天候が刈取りまでの日数に大きく影響を与えるので、登熟ムラの可能性が高くなります。出穂後日数は大まかな目安で行い、登熟をしっかりと確認（「**帯緑色籾歩合15%※**」）し、収穫しましょう。

帯緑色籾歩合は主稈を選んで不稔籾を除き完熟籾に対して籾に少しでも緑色の部分があるものを数えます（図1）。

表2 出穂から刈取りまでの日数の目安

品種	ふさおとめ	ふさこがね	コシヒカリ	粒すけ
出穂後日数	33日	37日	38日	38日

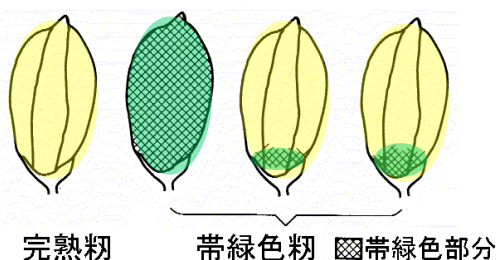


図1 帯緑色籾の見分け方

4. 乾燥・調製について

高温による急速な乾燥や過乾燥等は胴割れ米を発生させ、品質・食味を低下させます。乾燥の仕上げ水分は、14.5～15.0%（※）とし、特に過乾燥は避けましょう。

また乾燥直後の穀温が高い状態で籾摺りをおこなうと肌ずれ米等が生じやすいので、籾摺りは充分放冷してから行い、籾摺り機のロール幅は品種に応じて調製しましょう。

粒が小さい米が混ざると玄米の粗タンパク含有率が上がり、食味低下の要因となるため、選別は1.8mm以上の網目を使用し、粒張り、食味のよい「おいしいお米」を出荷しましょう。

※JAにより受ける米の水分値が別に定まっていますので、事前に確認しましょう。

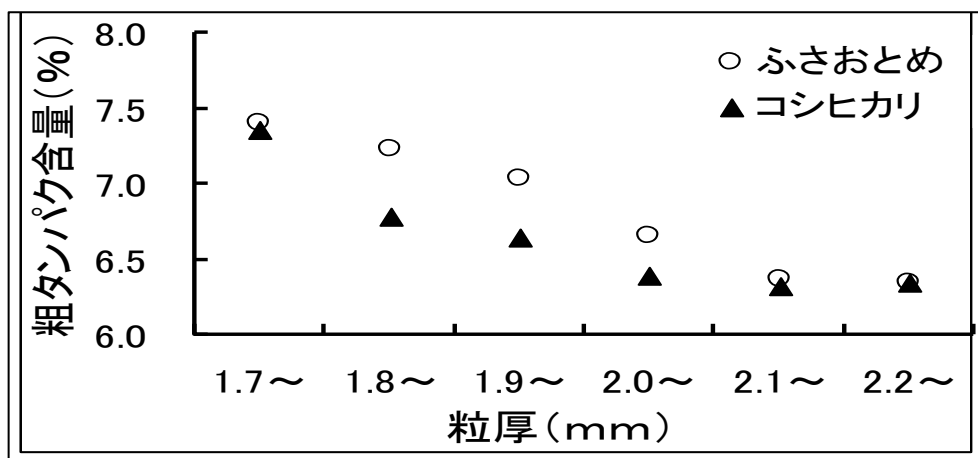


図2 粒厚と粗タンパク含有の関係

5. 生産履歴記帳について

生産履歴簿は皆さんが出荷するお米が、どんな品種で、どんな管理をして、どんな資材を使っているかを確認し、**適切な管理で栽培したことを証明**するためにあります。

出荷にあたっては記入漏れ・記入間違いが無いかももう一度生産履歴簿を確認し、JAへ提出しましょう。

提出前のチェック項目！

- ☐①JA 名・氏名の記入漏れ、押印漏れはありませんか？
 - ☐②作付圃場の地番・面積、合計面積に記入漏れはありませんか？
 - ☐③出穂期を確認して記入しましたか？
 - ☐④収穫予定日を記入しましたか？
 - ☐⑤選別網のサイズを確認しましたか？
 - ☐⑥肥料・農薬の資材名はきちんと記入しましたか？
- ※使用量は10a 当たりで記入！
- ☐⑦JA 担当者に中間確認と最終確認をしてもらいましたか？

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば 営農支援部

1. はじめに

気象庁によると8月は全国的に気温が平年より高い予報となっています。そのため、コナジラミ類等の害虫の発生には特に注意をしましょう。また、一般的に高温時や作物が弱っている時は薬害のリスクが高まるため、薬剤防除は早朝か夕方の涼しい時間に行いましょう。

2. トマト（コナジラミ類・アザミウマ類）



タバココナジラミ



黄化葉巻病被害



アザミウマ

(1) 育苗～定植時期の初期防除を実施しましょう

育苗期～定植時の粒剤・灌注処理は必ず行いましょう。コナジラミ・アザミウマ類は葉裏に寄生します。薬剤を散布するときはノズルを逆手に持つなど、葉裏にも薬がかかるような散布方法も織り交ぜましょう。また、薬剤だけでは防除効果は不十分です。以下の対策も行いましょう。

(2) ハウスへのコナジラミ・アザミウマ類の進入防止対策を実施しましょう

ア. ハウス周辺の除草を実施し、発生源を除去しましょう。

コナジラミ・アザミウマ類は雑草にも寄生します。また、野良生えトマト（前作残さ）で見つかることも多いです。アザミウマ類は花にもよく集まるため、花き類・雑草の花も発生源になります。

イ. ハウス内に黄色・青色粘着板を吊るし害虫の予察に努めましょう。

微小害虫は発見が難しいため、入口、側窓側、天窓下など害虫の侵入口となる場所を中心に設置し、発生予察を行いましょう。

ウ. ハウスには防虫ネット（0.8mm～0.4mm）を張り、微小害虫の侵入を防ぎましょう。

細かいネットは風上側や入口など、害虫が侵入しやすい場所へ展張すると効果的です。

○トマト コナジラミ・アザミウマ類 防除薬剤

薬剤系統	IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
材コナジラミ系	4A	ベストガード粒剤 ※1	1～2g/株	育苗期（株元）	どちらか
				定植時（植穴）	1回
ジアミド系	28	ベリマークSC	400倍/25ml/株	育苗期後半～定植当日	どちらか
		プリロツソ粒剤オメガ	2g/株 ※2	育苗期後半～定植時	1回
I GR剤	15	マッチ乳剤	2000倍	収穫前日	4回以内
その他	9B	コルト顆粒水和剤 ※1	4000倍	収穫前日	3回以内

※1 コナジラミ類対象 ※2 株元散布。乾燥状態では効果が低いので処理後灌水を行いましょう。

3. ネギ（白絹病・軟腐病）

（1）白絹病



白絹病は高温（30℃程度）と多湿により発生しやすい病害です。地際～地下部の軟白部に白いカビや菌核（白い粒）が発生します。発生後の対策は困難ですので、土寄せを行う時にあわせて予防的防除を実施しましょう。

○ネギ 白絹病 防除薬剤

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
7	モンカット粒剤	4～6kg/10a	土寄せ時・ 収穫 30 日前	3 回以内	予防
	モンカットフロアブル 40	2000 倍			
	アフェットフロアブル	2000 倍	収穫前日	2 回以内	予防
29	フロンサイド粉剤	15kg/10a	土寄せ時・収穫 21 日前	2 回以内	予防
14	リゾレックス粉剤	20～30kg/10a	土寄せ時・収穫 14 日前	3 回以内	予防
11+4	ユニフォーム粒剤	9kg/10a	土寄せ時・収穫 45 日前	1 回	予防
11	メジャーフロアブル	2000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療

（2）軟腐病



軟腐病も白絹病と同様に高温（30～35℃）で発生しやすいです。地上部の生育不良やしおれから始まり、株元や軟白部が軟化腐敗し、腐敗臭が発生することが特徴です。細菌病のため効果的な薬剤が限られます（下表）。土壌伝染する病害ですので、株元にもかかるよう散布しましょう。

○ネギ 軟腐病 防除薬剤

FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数※	備考
31	スターナ水和剤	2000 倍	収穫 7 日前	3 回以内※	予防・治療
31+M1	ナレート水和剤（スターナ＋有機銅）	1000 倍	収穫 14 日前	3 回以内※	予防・治療
31+24	カセット水和剤（スターナ＋カスミン）	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内※	予防・治療
P2	オリゼメート粒剤	6kg/10a	土寄せ時・収穫 30 日前	2 回以内	予防

※スターナ・ナレート・カセット は合わせて3回以内（共通成分：オキシリニック酸）

4. ニンジン 一年生雑草防除

土壌に処理する除草剤は成分が水により土壌表面に広がることで、出芽してくる雑草を枯らしめます。土壌が乾燥していると成分が広がらず効果が発揮されないなので、適度に土壌水分がある時に使用しましょう。乳剤を散布する場合は水量 100ℓ/10a を基本とし、土壌の乾燥状態に合わせ、登録の範囲で調整しましょう。

○ニンジン 除草剤

対象雑草	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数	散布量
一年生雑草	ゴーゴーサン乳剤	200～400ml/10a	播種後出芽前	1回	70～150ℓ
	ゴーゴーサン細粒剤 F	4～5kg/10a	播種後出芽前		－
	クレマート乳剤	200～400ml/10a	播種後発芽前	1回	100～150ℓ
	クレマートU粒剤	4～6kg/10a	播種後発芽前		－
	ロロックス	100～200g/10a	播種直後	1回	70～150ℓ

5. ダイコン（キスジノミハムシ・ハイマダラノメイガ）

いずれの害虫も子葉展開時から発生し始めますので、早めの防除を実施しましょう。

(1) キスジノミハムシ

早播き（8月中旬～下旬）では被害が多く見られます。
成虫は体長数ミリで、食害痕として子葉に小さい穴が残ります。
根部の被害は土壌中に潜り込んだ幼虫が原因です。



(2) ハイマダラノメイガ（シンクイムシ）

成虫は体長1～2cmくらいの茶褐色の蛾で、葉裏に産卵します。幼虫は生長点を食害するため欠株の原因となります。
本葉1～2枚頃までに防除を行いましょう。

○ダイコン キスジノミハムシ・ハイマダラノメイガ 防除薬剤

対象害虫	IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
キスジノミハムシ	4A	スタークル粒剤	9～12kg/10a	播種時	1回	全面土壌混和
	3A	フォース粒剤	6～9kg/10a	播種時	1回	全面土壌混和
	1B	ラグビーMC粒剤	20～30kg/10a	播種前	1回	全面土壌混和
	28	ベネビアOD	2000倍	収穫前日	3回以内	ハイマダラノメイガにも登録
ハイマダラノメイガ	28	プレバソンフロアブル5	2000倍	収穫前日	3回以内	

安全な農作物生産の取り組みについて

～農作業事故防止～

J A全農ちば 営農支援部

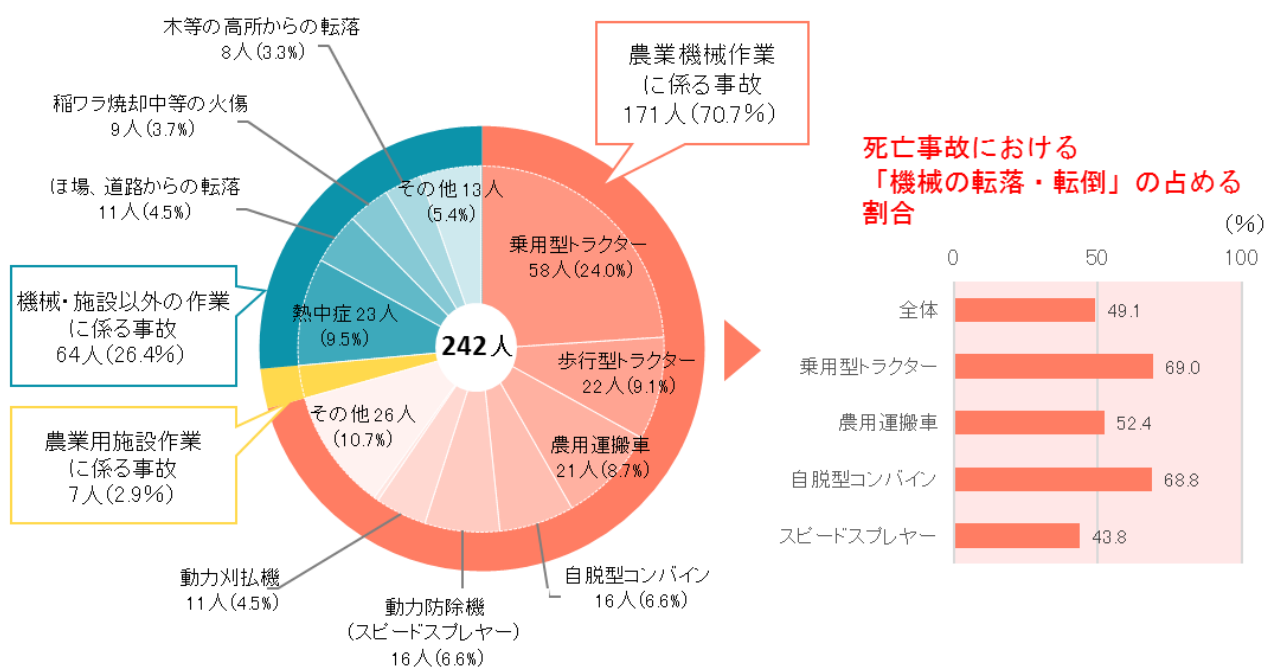
1. 農作業事故の現状

農林水産省では、農作業死亡事故の調査を行っています。**令和3年度の農作業事故死亡者数は242人**であり、前年より28人減少しています。年齢階層別死亡者数では**65歳以上の方が84.7%**を占めている現状です。また、原因としては**農業機械作業に係る事故**が大半を占めています。

「いつも大丈夫だから問題ない」「ちょっとだけだから...」が大きな事故を引き起こしかねません。まずは、**ワンチェック・ワンアクションで農作業安全を心がけましょう。**

○ 農業機械の転落・転倒で多くの方が亡くなっています

要因別の死亡事故発生状況（令和3年）



（出典）統計データ等を用いて農林水産省が整理

2. 農作業事故の防止

（1）作業中は常に注意しましょう！

作業の終盤や疲れが溜まった際、ふと集中力が切れると事故が起こりやすくなります。特に高所での作業時等は、最後まで気を抜かないようにしましょう。

（2）作業中のトラブル時は、必ずエンジンを止めて確認しましょう！

少しの確認をするときでも、必ずエンジンを止めて行いましょう。

（3）自身の体に合った服装で作業しましょう！

機械に巻き込まれる原因にもなります。袖のボタンなどもしっかり留めましょう。

（4）2人以上での作業・もしくは携帯電話を持ち歩きましょう！

事故が起きてしまった際に、すぐに助けを呼べる体制で作業しましょう。

安全な農作物生産の取り組みについて

～熱中症対策について～

気象庁の発表によると、関東甲信地方の向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため平年並かそれ以上に高く、8月11日頃からはさらに高くなる可能性があります。最高気温が35℃以上の猛暑日となる場所も相次ぐと思われますので、下記資料を参考にして農作業や栽培管理における高温時の対策を講じましょう。

1. 熱中症に注意

農作業は可能な限り高温の時間帯を避け、マスクを外すなど熱中症対策を講じましょう。

(1). 熱中症対策

ア. こまめに**水分・塩分補給**をしましょう

汗をかくと体内の「塩分」や「ミネラル」も放出されます。スポーツドリンクのように「塩分」と「糖分」を一緒に摂ると体内への塩分吸収が良くなります。高齢者はのどの渇きや気温の上昇を感じづらく脱水しやすいため、こまめな水分・塩分補給が必要です。



イ. こまめに**休憩**を取りましょう

日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を緩め、手足を露出して体温を下げましょう。

ウ. 2人以上で作業、もしくは携帯電話等で**すぐに助けを呼べる体制**をつくりましょう

熱中症で倒れてしまった場合、処置が遅れると死亡事故に繋がるリスクが高まります。緊急事態にすぐに気づいてもらう環境づくりが大切です。

エ. **暑さ指数**もチェックしましょう

環境省から暑さの厳しさを示す指標が出ています。気温とともに参考にしましょう。

環境省：熱中症予防情報サイト：https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

(2) 応急処置について

ア. 水分補給をしましょう！

経口補水液も有効です。水 1L に対して砂糖 40g、塩 3g で作れます。

イ. 体温を下げましょう！

首筋、わきの下、脚の付け根などを冷やすとより効果的です。

ウ. 安静にして十分な休憩を取りましょう！

エ. 救急搬送をしましょう！

自力で水が飲めない場合や、意識が無い場合には**119番**で救急車を呼びましょう！